

【議事録】(概要)

|         |  |         |   |        |                 |  |  |
|---------|--|---------|---|--------|-----------------|--|--|
| 会議名     | 第5次芦屋町総合振興計画審議会第2部会<br>(第2回)   |         |   | 会場     | 芦屋町役場<br>第3委員会室 |  |  |
| 日時      | 平成22年9月1日  |         |   | 13:30～ |                 |  |  |
| 件名・議題   | <p>1) 部会長挨拶<br/>                 2) 前回の部会における質問項目の報告<br/>                 3) 第5次総合振興計画基礎データの説明<br/>                 4) 第5次総合振興計画に係る対応すべき課題について<br/>                 ※第4次総合振興計画(後期基本計画)の主要施策毎の達成項目及び課題について説明し、意見を求めた。<br/>                 4章 心豊かな人が育つまちをめざして (教育・文化)<br/>                 1節 生涯学習<br/>                 2節 コミュニティ<br/>                 3節 幼児教育・学校教育<br/>                 4節 社会教育<br/>                 5節 レクリエーション・スポーツ<br/>                 6節 歴史・文化<br/>                 7節 国際交流</p> |         |   |        |                 |  |  |
| 委員の出欠   | 第2部会   |         |   |        |                 |  |  |
|         | 第2部会長  | 甲 斐 清 司 | 出 |        |                 |  |  |
|         | 第2副部会長   | 横 田 幸 子 | 出 |        |                 |  |  |
|         |  | 長 戸 隆 弘 | 出 |        |                 |  |  |
|         |  | 豊 長 忠 志 | 出 |        |                 |  |  |
|         |  | 野 添 光 弘 | 出 |        |                 |  |  |
|         |  | 染 井 月 次 | 出 |        |                 |  |  |
|         |  | 中 西 隆 雄 | 欠 |        |                 |  |  |
|         |  | 安 高 壽   | 出 |        |                 |  |  |
|         |  | 今 井 保 利 | 出 |        |                 |  |  |
|         | 貝 掛 俊 之  | 出       |   |        |                 |  |  |
| 合意・決定事項 | 合意・決定事項なし  |         |   |        |                 |  |  |

## 第5次芦屋町総合振興計画審議会第2部会（第2回）議事録

（事務局）

### 第4次総合振興計画 第4章 心豊かな人が育つまちをめざして（教育・文化）

#### 第1節 生涯学習の達成項目と課題について説明

##### 主要施策

##### 1. 生涯学習の推進

（委員）

- ・町民大学、ボランティア大学のようなものは今まで話が出てきていないか。いろいろな世代に応じて、多様な学習機会を与えるものである。

（事務局）

- ・そのようなものはないかと思う。芦屋町では大人向けの生涯学習講座がやや少ないと思う町民大学となると、捉え方がたくさんあると思う。多世代への学習は生涯学習の概念にも含まれるので、主に大人への学習機会の充実で検討したい。

（事務局）

#### 第2節 コミュニティの達成項目と課題について説明

##### 主要施策

##### 1. コミュニティ活動の活性化

##### 2. コミュニティリーダーの育成

（委員）

- ・自治区の実態は厳しい。芦屋町の自治区加入率は67%程度であり、いまだに自治区を離れる人もいる。最近イベントをしてもなかなか人が集まらない。区長は30人いるが、その中で区の活性化のために取り組んでいる人はどの程度いるのだろうか。今後は民生委員を中心に区の高齢者に目を向けていくことも検討している。今度、町民体育祭があるが、今まで参加していなかった区にも参加の呼びかけをしている。

（委員）

- ・リーダー育成が大事なのではないか。

（委員）

- ・研修など実施しているが、なかなか難しい。区の再編などにも取り組んでおり、リーダーを増やす取り組みはしている。

(事務局)

- ・リーダーの育成については、行政もある程度旗振りをしていかなければと思っている。

(委員)

- ・生涯学習でもコミュニティでもリーダーは必要。町でリーダーの登録などはしていないのか。

(委員)

- ・人材バンクはあるが、コミュニティのリーダーなどの登録は聞いたことがない。

(事務局)

### **第3節 幼児教育・学校教育の達成項目と課題について説明**

#### **主要施策**

1. 相談・指導体制の充実
2. 地域に関われた学校づくり
3. 学校施設及び環境の整備充実
4. 児童生徒のボランティア活動の推進
5. 時代に即した学校教育の推進
6. 給食センターの建て替え等の検討
7. 幼児教育の充実

(委員)

- ・登校時のごみ拾いボランティアを行っているが、確かに以前よりもゴミが減ったように思う。月2回と言わずにもっと取り組んでほしい。  
芦屋町は保育所にも比較的入りやすく、子育てはしやすい町だと思う。ただし、高校からは通学の問題があり、交通対策が課題である。

(事務局)

### **第4節 社会教育の達成項目と課題について説明**

#### **主要施策**

1. 社会教育、公民館活動の推進
2. 社会教育施設の整備
3. 人権教育の推進
4. 男女共同参画の推進

(委員)

- ・生涯学習基本構想ができたから社会教育基本構想は不要という考え方はおかしいのではないか。

(事務局)

- ・生涯学習基本構想は、社会教育基本構想を包含して策定されている。

(委員)

- ・スポーツは社会教育とはまた別の話になるのか。

(事務局)

- ・社会体育という言葉もあるので、別ということではない。

(事務局)

#### **第5節レクリエーション・スポーツの達成項目と課題について説明 主要施策**

1. レクリエーション・スポーツの普及
2. 競技スポーツの推進
3. 総合運動公園の整備充実
4. 体育施設の有効利用

(委員)

- ・学校での部活動については掲載しなくていいのか。

(事務局)

#### **第6節 歴史・文化の達成項目と課題について説明 主要施策**

1. 文化財保護
2. 芦屋歴史の里の活用と充実

(委員)

- ・芦屋釜は唯一世界に誇れるものかと思う。作った釜を販売できれば、芦屋釜の里などの運営資金にできるのではないか。

(事務局)

- ・九産大には1点売却している。しかし、茶道具として釜の販売に関しては、道具屋や流派が関係し、非常に複雑と聞いている。このような状況で、販売は難しさがあるようだ。

鋳物師が独立したら、個人では販売することになる。

(委員)

・前もって総合振興計画の中で宣言しておけば、販売できるのではないか。

(委員)

・全国的な体制もあるかと思うが、それを打ち破ってほしいという思いもある。

(委員)

・芦屋釜の販売については、もう少し詳しく調べてなぜ販売できないか説明してほしい。

(委員)

・芦屋釜の事業を町としてどのような方向性で進めていきたいのか。

(事務局)

・販売や方向性は、芦屋釜の里振興計画に記載されていると思うので、次回審議会で説明する。

(委員)

・競艇が悪いということではないが、殺伐とした中で芦屋釜は誇りとなる一面である。豊かなまちとするためにももっとPRしてほしい。

(委員)

・芦屋釜の里はあまり利用されておらず、もっと宣伝した方がよいのではないかと思う。そうすれば釜も売れる可能性もある。

(委員)

・今、小学校1～6年生まで芦屋学を実施しており、その中で芦屋釜についてもふれている。うまく実施されているかどうかはわからないが、今出たような意見は教育委員会の会議でも話したいと思う。

(事務局)

## **第7節 国際交流 の達成項目と課題について説明**

### **主要施策**

- 1. 民間団体への支援**
- 2. 青少年の国際化**

(委員)

- ・ホームステイが隔年実施というのはいつまでなのか。もし毎年実施することになったらどうするのか。

(事務局)

- ・町補助金の見直しで隔年実施になった。見直しをする場合は、実施計画の中で検討する。

(委員)

- ・ちなみに今年のホームステイ参加者は全員女の子であった。

(委員)

- ・日本スポーツ少年団はドイツと交流を行っているが、半分は助成金(競輪事業)で対応するため本人負担があまりかからない。このようなかたちで助成金をうまく活用して実施できればいいと思う。